

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	110	1年	後期	臨床検査学科	選択	哲学 Philosophy	30	2
担当教員								
山本 與志隆*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
現代医学をも含む科学技術を育んできた西洋の知の伝統をふり返り、その根本特徴を理解するとともに、東洋的なものの見方考え方や比較考察することで、現代の諸問題の根底にあるものを理解し、解決の方向性を深く考える態度を養う。								
到達目標（授業目標）								
哲学が何を問題として成立し、展開してきたかを理解することができる。								
哲学と自然科学の関係を理解した上で、特に自然科学の根本性格を説明することができる。								
現代医学を含む科学技術の可能性と限界を理解し、それとの適切な関わり方を考えることができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	哲学とは何か：「哲学」の原義と根本性格と東洋の「思想」							
2回	古代の哲学（1）：古代ギリシャにおける学知の成立							
3回	古代の哲学（2）：古代ギリシャにおける学知の成立							
4回	古代の哲学（3）：古代ギリシャにおける学知の成立							

5回	中世の哲学（1）：ヘブライ、キリスト教における創造の思想								
6回	中世の哲学（2）：ヘブライ、キリスト教における創造の思想								
7回	近代の哲学（1）：近代科学の成立と哲学の役割								
8回	近代の哲学（2）：近代科学の成立と哲学の役割								
9回	近代の哲学（3）：近代科学の成立と哲学の役割								
10回	東洋の思想（1）：東洋的な自然観と人間観								
11回	東洋の思想（2）：東洋的な自然観と人間観								
12回	現代科学の諸問題（1）：生命・身体・自然－機械論的自然観とその帰結								
13回	現代科学の諸問題（2）：生命・身体・自然－機械論的自然観とその帰結								
14回	まとめ（1）：哲学の今後の課題－現代の諸問題に即して								
15回	まとめ（2）：哲学の今後の課題－現代の諸問題に即して								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
期末レポートにより評価する。60点以上を合格とする。									
教科書	テキストは使用せずプリントを配付する。								
参考図書等	授業中に適宜紹介する。								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
授業中に配布するプリント、紹介した参考文献を読んでおく。									
関連科目									
前科目	130	心理学							
後科目	101	科学論	129	生命倫理					
実務家教員									
備考									